

第3回

in京都

近畿「子どもの水辺」交流会 開催結果報告

近畿各府県の小・中学生等が京都に集まり、身近な水辺で観察・体験・取り組んだ活動などを発表し、たくさんの仲間と交流しました。

近畿「子どもの水辺」交流会は、日頃から取り組んでいる身近な水辺活動を広く発信していただくもので、「水辺」への関心、上下流・府県間など「水辺」に関わるみなさんの交流を深め、水辺活動の継続・広がり、地域ぐるみで共につくり、守り、育てる「水辺」づくりを目指しています。



主催／近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会

(近畿府県の水辺活動団体等、近畿地方整備局、近畿各府県、河川環境管理財団)

後援／北陸・東海・近畿農政局、近畿地方環境事務所、近畿各府県教育委員会、近畿各政令市、
近畿各政令市教育委員会、琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会、琵琶湖・淀川流域圏連携交流会

○近畿「子どもの水辺」交流会は財団法人河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受けています。

第1部 開会・参加者紹介

■ ようこそ京都へ！

オープニングは、京都市立醒泉せいせん小学校による「醒泉太鼓せいせんだいこ」の演奏



京都市立醒泉せいせん小学校の6年生が、「醒泉太鼓せいせんだいこ」を披露してくれました。

この太鼓は、20年前から6年生に受け継がれ、学校の行事や地域の夏祭り、修学旅行の交流会で演奏されています。子どもたちは、5年生のとき京都の伝統工芸「京友禅」で自分たちで染め、縫い上げられた法被を着て登場です。

オープニングにふさわしい、元気で迫力のある和太鼓の音が会場に響き渡りました。

演奏後、歓迎の京都府知事メッセージが伝えられ、第3回近畿「子どもの水辺」交流会 in 京都の幕が開けました。



■ 近畿各地から集まった、「水辺」の仲間を紹介



近畿各地から33の団体や学校が交流会に参加してくれました。第1部では、各団体の代表者1名がホールに集まった参加者全員の前で、いつも活動している水辺や活動の内容、また一緒に活動している仲間たちについて紹介してくれました。

ステージのスクリーンには、活動している水辺や風景等が映し出され、日ごろのようすが伝わってきました。

出会ったばかりの知らない顔に緊張しながらの発表でしたが、代表としてしっかり紹介してくれました。

これから意見を交わす近畿の仲間たちの紹介を、みんな興味津々で聞いていました。



■ 交流会のながれについて説明を聞きました

第3部の全体交流会で、ファシリテーターを務める中村大輔さんが登場！

第2部グループ別交流会の各コーディネーターさんの紹介や交流会全体のながれについて、スクリーンに図を映して説明がありました。

そして、「第3部の全体交流会までに、各グループみんなと仲良くなってください。」「全体交流会で、また会いましょう。」の2つの約束をみんなと交わして、第1部が終了しました。

いよいよ交流会のスタートです。参加者は、各グループの会場へ移動しました。



第2部 グループ別交流会

6つのグループに分かれて、グループ別交流会を行いました。それぞれのコーディネーターの進行のもと、活動をまとめたポスターを使い、日頃の水辺活動について発表してくれました。中には紙芝居やコント、小道具を活用した発表もありました。

また、自分たちの「水辺の自慢」、「楽しいこと」、「困っていること」などを自由に話し合いました。そして「こんな『水辺』がいいな!」をテーマに話し合い、大きな「さかなのパネル」を完成させました。



●グループA●



- ① 芦屋川探検隊(兵庫県)
「芦屋川での鳴く虫探しと宮川での植物観察」
- ② 京都市立羽羽川小学校(京都府)
「音羽川をきれいに!」



- ③ 東近江市立能登川南小学校 エコスクール委員会(滋賀県)
「緑を育て、川を守り、地球にやさしくしよう」
- ④ 京都市立南大内小学校(京都府)
「東寺のお堀をきれいにせんで委員会」



- ⑤ 高島市立今津中学校エコスクール(滋賀県)
「里森・里川・里湖の生活を楽しみ環境を守る」
- ⑥ 橿原市立畷傍中学校 科学部(奈良県)
「古代から未来へと続く川、飛鳥川」



■コーディネーター:
橋本 夏次さん(近木川流域自然大学研究会)
山下 裕史さん(大阪府河川環境課)

●グループB●



- ① TANAKAMI こども環境クラブ クリスタルエコ(滋賀県)
「田上から発信! ~自然情報 昆虫、魚、カニ、エビ、カエル~」
- ② 京都市立静原小学校(京都府) 「静原川ゴミ0新聞」



- ③ 宇陀市立室生東小学校(奈良県)
「宇陀川の水質調査と環境学習」
- ④ ホタルの学校 ~大津市千丈川~(滋賀県)
「ふるさとの川には、ホタルがいっぱい!
生きものたちがいっぱい!」



- ⑤ 自然と文化の森協会
猪名川自然林キッズサポータークラブ(兵庫県)
「猪名川・藻川からのすてきなおくり物」
- ⑥ 亀岡市地球環境子ども村
自然活動キッズクラブ2009(京都府)
「未来へ残そう美しい水辺環境と生きもの達」

■コーディネーター:
谷 幸三さん(大阪産業大学人間環境学部)



●グループC●

■コーディネーター:柳沼 宣裕史さん(スイポーズ、淀水防団)

- ① NPO法人 蒲生野考現倶楽部(滋賀県)
「びわ湖から「たんけん、はっけん、ほっとけん」」
- ② 山内エコクラブ(滋賀県)
「里山の水と暮らし ~山内の水文化はすごいぞ~」
- ③ 京都市立境谷小学校(京都府)
「発見! 京都の川の生きものたち」



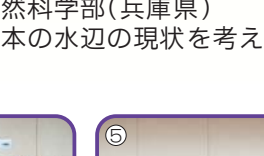
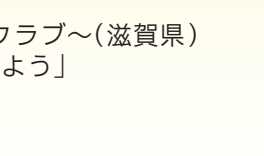
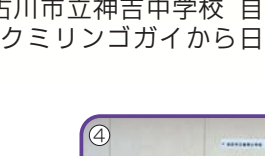
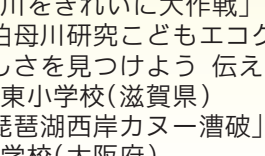
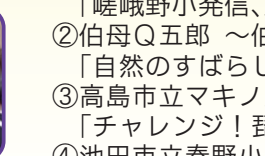
- ④ 石川こども自然隊(大阪府)
「川においでよ!! 石川は生き物いっぱい宝の箱だよ」
- ⑤ 西京極児童館 自然探検隊2004(京都府)
「効果あり「えひめAI-2」!!」
- ⑥ 福田川探検隊(兵庫県)
「水のやさしさ怖さを学ぶ探検」



●グループD●

■コーディネーター:山村 武正さん(やましり山山の会)

- ① 京都市立嵯峨野小学校(京都府)
「嵯峨野小発信、川をきれいに大作戦」
- ② 伯母Q五郎 ~伯母川研究こどもエコクラブ~(滋賀県)
「自然のすばらしさを見つけよう 伝えよう」
- ③ 高島市立マキノ東小学校(滋賀県)
「チャレンジ! 琵琶湖西岸カヌー漕破」
- ④ 池田市立秦野小学校(大阪府)
「学校の中にビオトープがあるって楽しい!」
- ⑤ 加古川市立神吉中学校 自然科学部(兵庫県)
「スクミリンゴガイから日本の水辺の現状を考える2009」



●グループE●

■コーディネーター:大脇 巧己さん(NPO法人 さんびいす)

- ① 京都市立朱雀第四小学校(京都府)
「紙屋川ゴミ0隊の活動」
- ② やましり山山の会 木津川子ども部会(京都府)
「ぼく達 私たちは木津川お魚調査隊、きれいな木津川をとりもどそう!」
- ③ たつの市立小宅小学校3年生(兵庫県)
「赤とんぼがとびかうまに」
- ④ 堺市立神石小学校 理科栽培委員会(大阪府)
「親しめる石津川をめざして」
- ⑤ 水のかげ橋びわこ子ども委員会(滋賀県)
「子どもの水辺アジア5カ国会議」



●グループF●

■コーディネーター:井阪 尚司さん(教員 NPO水のかげ橋JAPAN)

- ① 京都市立第四錦林小学校(京都府)
「鴨川探検 ~鴨川をもっと楽しもう~」
- ② 芦屋市立浜風小学校(兵庫県)
「芦屋浜の歴史に学ぼう」
- ③ 貝塚市立南小学校かわっばクラブ(大阪府)
「かわっばGo! Go! 7」
- ④ アイキッズ ~エコアイデアキッズびわ湖~(滋賀県)
「水のつながり・命のつながり」
- ⑤ NPO法人 子どもと川とまちのフォーラム(京都府)
「流域の川の違いと一緒のところ?!」



第3部 全体交流会・閉会

「笙」の音色と「朗読」で第3部の幕開け

京都らしい雅楽器を竹若佳代子さんたちが演奏。曲名は「越天楽」。雅楽の代表的な曲です。「笙」「篳篥」「龍笛」の雅やかな音色が会場全体を包みみました。

そして、演奏をBGMに京都府京丹後市峰山町に伝わる伝説「さんねもと天女」のお話を聞きました。



全体交流会



第3部のファシリテーター、中村大輔さん(草津市立笠縫東小学校教員)の進行で、全体交流会がスタートしました。

第1部での約束「各グループでみんなと仲良くなる」ことができたかどうか、まずは、クイズでチームワークを確認します。グループ内で答えを相談。みんな約束どおり仲良くなって、第3部に集まってくれたようです。

大きなホールで元気よく手をあげて、自分たちの水辺の「水辺の自慢」や「楽しいこと」、「困っていること」をみんなに聞いてもらいました。

また、第2部のグループ別交流会で「こんな『水辺』がいいな」をテーマに話し合い、作成した色とりどりの魚も会場に到着。大きなウロコの色紙に書かれた話し合いの成果を、みんなの前で発表し、思いが込められた長さ3メートルの大きなさかなを作り上げました。

そして、「すてきな水辺を守るためにこれからどんな活動をしますか。」の問いに、グループみんなで話し合い発表しました。



「みんなで考えて、すばらしい意見が出たので、明日から近畿の水辺は美しくなりますね。」と訪ねると、ほとんどの子ども達が「No」。「水辺のことを知らない人が多い、もっと仲間をふやさない」と、「もっと活動を広げないといけない」などの意見がでました。そのためには『子どもの水辺交流会』を日本中に広めなあかんと思う。」の意見も…。

最後に、「本気で、すてきな水辺を守ろうと考えたとき、一番大切なことはなんだろう。」の問いにグループで話し合い、「みんなで協力し、行動することが大切」「みんなが川に関心をもつことが大切」「一人から一人へ多くの人に川を守る気持ちをひろげることが大切」などの意見を発表し、交流会における、お互いの成果を讃え合いました。

最後に次回開催地である奈良県知事からのメッセージが伝えられ、交流会が閉幕しました。



作品展示

今回は参加が出来なかったけれど、自分たちが行っている活動を紹介してくれるポスターや新聞の展示や絵画コンクールや外国からの作品などの展示を行いました。



体験・交流プログラム

会場には、^{ことひきはま}琴引浜の鳴き砂を実際に鳴らしたり、淀川のヨシとシジミを使った工作、お茶のいれ方教室、水に関する実験や京都の名水の引き水などの体験や天然記念物のアユモドキの紹介、木津川のに生息するさかなやスポンの水槽展示。カヌーや治山モデルの展示などもあり、充実した一日となりました。

○アユモドキのがっこう
NPO 亀岡人と自然のネットワーク



○水の実験・体験コーナー
(株) 共立理化学研究所



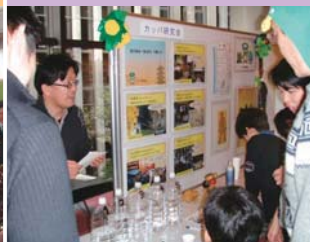
○琴引浜の鳴き砂ってどんな音？
琴引浜鳴き砂文化館



○おいしいお茶をいれてみよう！
(社) 京都府茶業会議所



○京の名水、きき水で楽しむ
カッパ研究会



○カヌーは大自然を体験するための道具である
日本カヌー普及協会



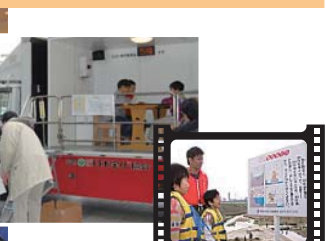
○川で遊ぼう！木津川の生き物たち
NPO やましろ里山の会



○淀川で採れる自然素材を使って工作
(財) 河川環境管理財団 大阪事務所



○がんばれ治山くん実演 ○起震車体験 ○川遊びのルールを学ぼう！
京都府



第3回 近畿「子どもの水辺」交流会 概要

日時 場所

平成22年1月23日(土)10:00~16:30
京都テルサ(京都府民総合交流プラザ)
京都市南区新町通九条下ル



内容

〈第1部〉開会・参加者紹介：醒泉小学校「醒泉太鼓」演奏、参加団体自己紹介
〈第2部〉グループ別交流会：6グループにわかれて活動の発表と意見の交換
〈第3部〉全体交流会・閉会：参加者全員が集合して「水辺」について考える
□体験・交流プログラム：「水」や「水辺」に関する体験や実験など

兵庫県

- 芦屋川探検隊
- 芦屋市立浜風小学校
- 自然と文化の森協会
猪名川自然林キッズサポーター
- たつの市立小宅小学校3年生クラブ
- 福田川探検隊
- 加古川市立神吉中学校 自然科学部
- 神戸市立高丸小学校
- 都賀川子どもフォーラム

大阪府

- 石川子ども自然隊
- 池田市立秦野小学校
- 貝塚市立南小学校かわっばクラブ
- 堺市立神石小学校 理科・栽培委員会
- 貝塚市立西小学校 環境科学クラブ
- 八尾市立八尾小学校 理科科学クラブ
- 「私の水辺」大発表会
中河内地域交流会実行委員会

奈良県

- 宇陀市立室生東小学校
- 橿原市立畝傍中学校 科学部
- 桜井市立桜井南小学校
- 奈良市立佐保川小学校

和歌山県

- 和歌山県 絵画コンクール優秀作品

三重県

- 三重県 河川・海岸愛護ポスター

その他の参加

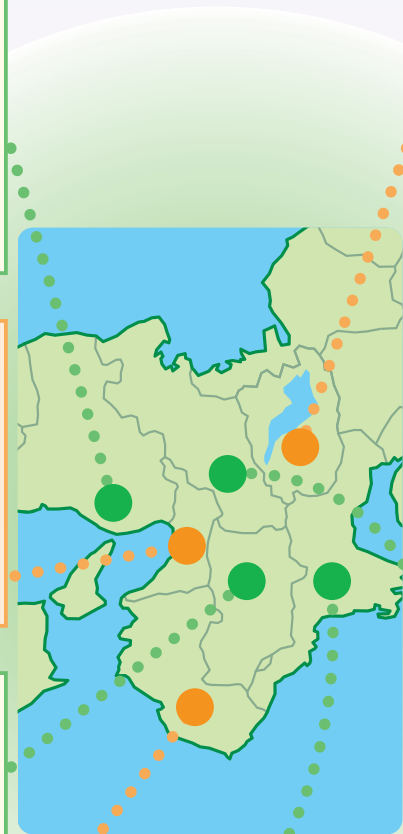
- タイの子どもたちの作品(海外)
- 大和川「絵・ポスター・作文・写真」コンクール入賞作品(国土交通省)

滋賀県

- アイキッズ
～エコアイディアキッズびわ湖～
- NPO法人 蒲生野考現倶楽部
- 伯母Q五郎
～伯母川研究こどもエコクラブ～
- 高島市立今津中学校エコスクール
- 高島市立マキノ東小学校
- TANAKAMIこども環境クラブ
クリスタルエコ
- 東近江市立能登川南小学校
エコスクール委員会
- ホタルの学校 ～大津市千丈川～
- 水のかけ橋びわこ子ども委員会
- 山内エコクラブ

京都府

- NPO法人
子どもと川とまちのフォーラム
- 亀岡市地球環境子ども村
自然活動キッズクラブ2009
- 京都市立音羽川小学校
- 京都市立境谷小学校
- 京都市立嵯峨野小学校
- 京都市立静原小学校
- 京都市立朱雀第四小学校
- 京都市立第四錦林小学校
- 京都市立南大内小学校
- 京極児童館自然探検隊2004
- やましろ里山の会 木津川子ども部会
- NPO法人 流域調整室
- 京都市山科青少年活動センター
- 相楽東部広域連立立笠置小学校
- 個人作品
- 京都市立醒泉小学校(醒泉太鼓)



参加者の声

■ 発表した子ども達の感想

- ・緊張したけどグループ交流会などが楽しかった。
- ・はじめて参加しました。他の学校やグループの活動が聞けて楽しかったです。
- ・私たちの活動以外の活動を学んで、今後やってみたいと思った。
- ・グループ行動のとき、違う団体の人とも1つになれてよかった。
- ・みんなと交流したり、発表したりとても楽しかった。
- ・意外と簡単に意見が言えて良かった。
- ・他府県からきた、いろんな人と交流できて楽しかったし、よかった。
- ・とても楽しかったし、いろいろ学べて、また来年も参加したいと思いました。



京都新聞 [H22. 1. 24]



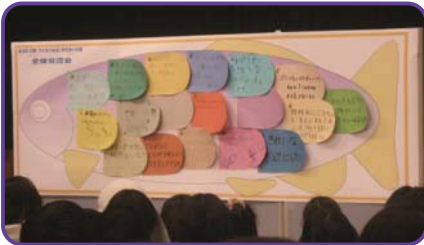
■ みんなに伝えたいメッセージ

- ・発表するとみんなの心が1つになる。
- ・これからもずっと、活動を続けようね。
- ・環境を大切にすることを忘れないようにしましょう。
- ・「水辺」を思う気持ちを大切にしてください。
- ・川にゴミを捨てずきれいにしていこうね。
- ・これからも水辺をきれいにして、守っていきましょう。
- ・来年は、奈良に来てね。来年も会いましょう！



■ 水辺を守ろうと考えたときに大切なのは

- ・みんなで協力し、行動すること
- ・みんなが川に関心をもつこと
- ・水をきれいにしようと思う気持ちをもつこと
- ・計画をたてて みんなで美しくしていくこと
- ・一人から一人へ 多くの人に川を守る気持ちをひろげること
- ・一人一人が心がけること



第4回 近畿「子どもの水辺」交流会(予告)

■ ■ 奈良県にて開催予定 ■ ■

開催時期・内容等については、近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会にて検討中！
企画決定後、関係機関のホームページに掲載しますのでご参照ください。

お問い合わせ先

- 国土交通省近畿地方整備局河川部地域河川課
TEL 06-6942-4407 FAX 06-6942-1867
- 福井県土木部河川課
TEL 0776-20-0480 FAX 0776-20-0659
- 滋賀県土木交通部河港課
TEL 077-528-4154 FAX 077-528-4904
- 京都府建設交通部河川課
TEL 075-414-5287 FAX 075-432-6312
- 大阪府都市整備部河川整備課
TEL 06-6943-7409 FAX 06-6949-3129

- 兵庫県県土整備部土木局河川計画室
TEL 078-362-9261 FAX 078-362-3942
- 奈良県土木部河川課
TEL 0742-27-7504 FAX 0742-22-1399
- 和歌山県県土整備部河川・下水道局河川課
TEL 073-441-3134 FAX 073-433-2147
- 三重県県土整備部河川・砂防室
TEL 059-224-2682 FAX 059-224-2684
- 財団法人 河川環境管理財団 近畿事務所
TEL 06-6942-2310 FAX 06-6942-2118